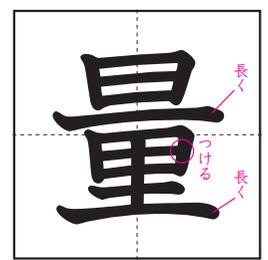
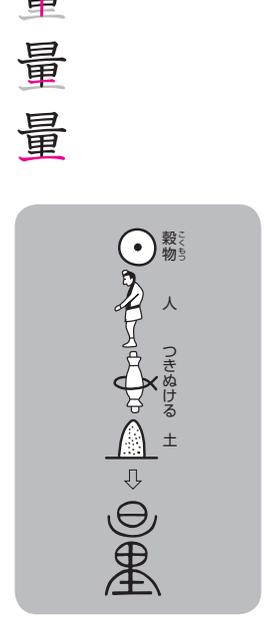


第1回

- 量
- 愛
- 塩
- 試
- 辞
- 照
- 節
- 戦
- 続
- 置



部首	里	さと
総画	5画	12画



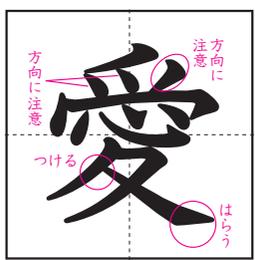
なりたち
会 意
穀物を表す「里」と、重さを表す「重」を略した形を合わせた字。米など、穀物の「重さをはかること」の意味を表す。

用例

- ① かさ。重さ。大きさ。
- ② 雨量（地面にふった雨のりょう）。
- ③ 重さやかさをはかる。
- ④ 計量（重さやかさをはかること）。
- ⑤ 分量（ものの目方・割合などのりょう）。
- ⑥ 心でおしはかる。
- ⑦ 裁量（自分の考えで判断して始末をつけること）。
- ⑧ 心や能力の大きさ。
- ⑨ 力量（その人の出せる能力の程度）。

練習問題

- 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。
- 1 ウリヨウが多い地域。
 - 2 お米をケイリヨウする。
 - 3 水のブンリヨウが少ない。
 - 4 米の重さをはかる。
 - 5 リキリヨウをためされる。



部首	心	こころ
総画	9画	13画



なりたち
形 声
「心」と「夊」(足)と「死」(むねがつまって、体が後ろへ反る様子)を合わせた字。心がせつなくて足も進まないことから、「いとしく思う」の意味。

用例

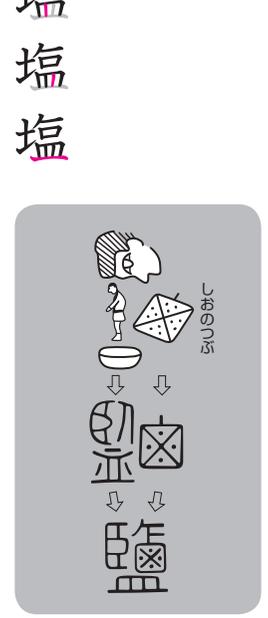
- ① かわいがる。たいせつにする。
- ② 愛情（たいせつに思う気持ち。好きだと思う気持ち）。
- ③ 愛校心（自分の学校をたいせつに思う心）。
- ④ 愛好（あいして好きだと思ふこと）。
- ⑤ 親しむ。
- ⑥ 親愛（あいして親しみを感じること）。
- ⑦ 心がひかれ、好きである。こいしく思う。
- ⑧ 愛着（こいひかれて思いきれないこと）。

練習問題

- 次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。
- 1 親のアイ情を受ける。
 - 2 アイコウシンを持つ。
 - 3 写真をアイコウする仲間。
 - 4 シンアイの情を表す。
 - 5 アイチャクのある古時計。



部首	土
読み	つちへん
総画	10画
総画	13画



なりたち
形 声

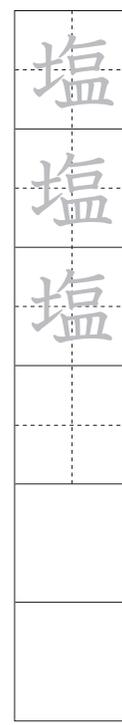
古い字は「鹽」。「鹵」(しおのつじ)と、水につかる意味で音を表す「監」を合わせた字。海水からつくられるしおを意味し、しお一般の意味となった。

用例

- ① しお。しおけ。
・ 食塩 (加工して食用にしたしお。)
- ・ 塩分 (ものにふくまれていているしおの量。)
- ・ 塩味 (しおの味。)
- ・ 塩田 (海水からしおをとるためのすなはま。)
- ・ 塩水 (しおがとけている水。)
- ・ 岩塩 (岩石の間などからとれる天然のしお。)
- ・ 塩素 (物質が塩素と化合すること。)
- ・ 塩化 (物質が塩素と化合すること。)

練習問題

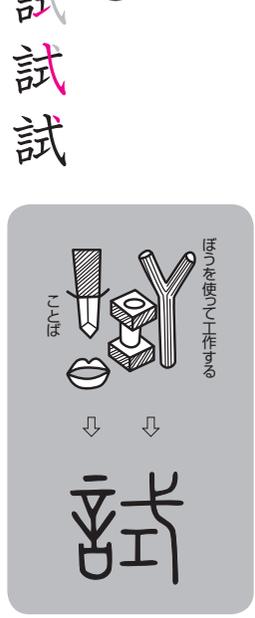
次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。



- 適度なエンブンをとる。
- しおあじのせんべい。
- エンデンに海水を入れる。
- しおみずでうがいをする。
- ガンエンを使った料理。



部首	言
読み	ごんべん
総画	6画
総画	13画



なりたち
形 声

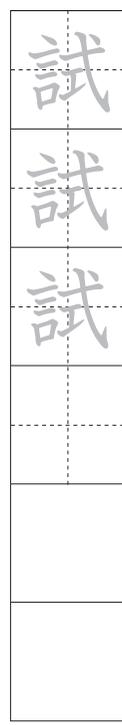
「言」(ことば)と、ぼうを使って仕事をする意味の音を表す「式」を合わせた字。人やものを使って「仕事をさせてみること」の意味を表す。

用例

- ① ためす。やってみる。
・ 試食 (味をみるためにためにに食べてみること。)
- ・ 試飲 (ためにに飲んでみること。)
- ・ 試合 (うでまえをくらべ、勝ち負けをつけること。)
- ・ 試験 (学力や能力などをためして調べること。)
- ・ 試作 (ためにに作ってみること。)
- ・ 試練 (強さをためされる時の苦しみや困難。)
- ② 試験の略。
・ 入試 (入学試験の略。)

練習問題

次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。



- 料理をシシヨクする。
- 野球のシあいを見に行く。
- 新しく実験をこころみる。
- シレンにたえて強くなる。
- 中学ニューシに合格する。

第1回

量

愛

塩

試

辞

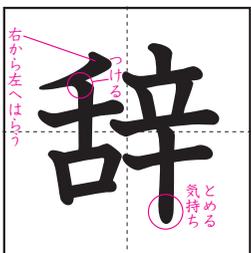
照

節

戦

続

置



なりたち
形 声

古い字は「辭」。もつれた糸を引っぱって直す様子で音を表す「簡」と、「刀」を合わせた字。「ことば」「ことわる」「別れをつける」の意味を表す。

用例

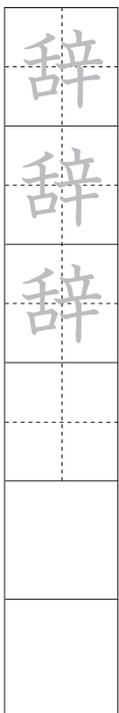
- ① ことば。文章。
・ 辞書 (言葉の読み方、意味などを説明した書物。)
- ・ 祝辞 (お祝いにのべる言葉。)
- ・ 辞令 (あいさつ。職につかせたりやめさせる文書。)
- ② ことわる。やめる。
・ 固辞 (すすめなどをかたくことわること。)
- ・ 辞表 (職をやめるときに書いて出す文書。)
- ③ 別れを告げる。いとまごいをする。
・ 辞世 (この世に別れを告げること。)

部首 辛 からい 6画 総画 13画

【音】 ジ

【訓】 (や—める)

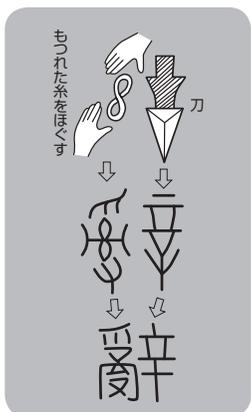
辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞 辞



練習問題

次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

- 1 ジシヨで意味を調べる。
- 2 入学式のシユクジを聞く。
- 3 海外勤務のジレイが出る。
- 4 会社をやめる。
- 5 ジセイの句を残す。



なりたち
形 声

「灠」(火)と、音を表す「昭」(太陽の光でてらす)を合わせた字。「灠」をつけて「昭」の意味をはっきりさせた字で「くまなくてらすこと」を表す。

用例

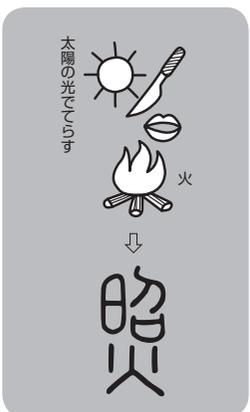
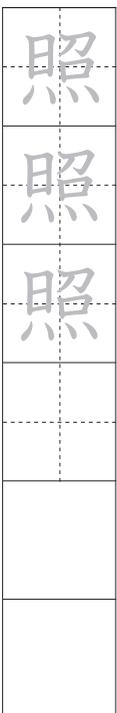
- ① てらす。てりがややく。
・ 照明 (明るくてらすこと。)
- ・ 日照 (太陽が地上をてらすこと。日がてること。)
- ・ 日照 (夕日がしずんでも残っている太陽の光。)
- ② てらし合わせる。見くらべる。
・ 照会 (問い合わせること。)
- ・ 照合 (見くらべて調べること。)
- ・ 対照 (二つのものごとをてらし合わせること。)
- ・ 参照 (てらし合わせて参考にすること。)

部首 灠 れんが(れっか) 9画 総画 13画

【音】 シ ヨウ

【訓】 て—る・て—らす・て—れる

照 照 照 照 照 照 照 照 照 照 照 照 照 照 照



練習問題

次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

- 1 夕日が山なみをてらす。
- 2 劇場のシヨウメイ係。
- 3 ニッシヨウ時間が長い。
- 4 タイシヨウ的な性格。
- 5 闇夜にてる月。

第1回

量

愛

塩

試

辞

照

節

戦

続

置



部首 糸 いとへん 7画 総画 13画

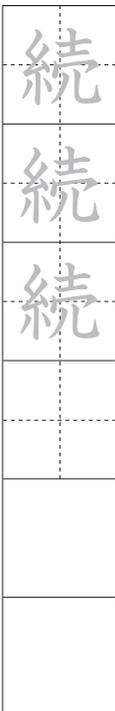
【音】 ゾク
【訓】 つづーく・つづーける

続 続 続 続 続 続 続 続 続 続

なりたち 形 声
古い字は「續」。糸と、音を表す「賣」(お金や品物をとぎれないように行き来させる)を合わせた字。そこから「とぎれないでつづく」の意味を表す。

用例

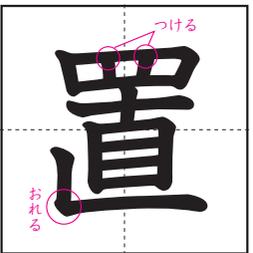
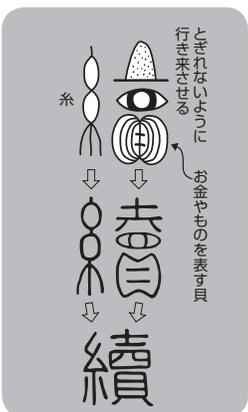
- ① つなぐ。とぎれないでつづく。
 - ・ 続行 (ひきつづき行うこと。)
 - ・ 連続 (とぎれずにつづくこと。)
 - ・ 地続き (ある所から他の所まで土地がつづいていっていること。)
 - ・ 持続 (ながい間、ある状態がつづくこと。)
 - ・ 続出 (同じことが次々出てくること。)
 - ・ 後続 (後につづくものや人。)
- ② つづき。前につながるもの。
 - ・ 続編 (前の作品につづく作品。)



練習問題

次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

- 1 試合をゾツコウする。
- 2 あたたかい日がつづく。
- 3 三試合レンゾク勝利する。
- 4 売り切れゾクシュツの品。
- 5 読書をつづける。



部首 罝 あみがしら 8画 総画 13画

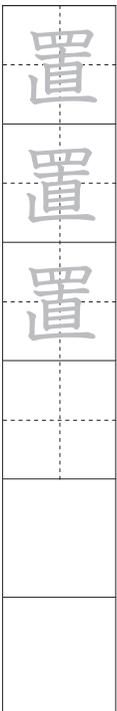
【音】 チ
【訓】 おーく

置 置 置 置 置 置 置 置 置 置

なりたち 形 声
「罝」(あみ)と、まっすぐに目を向ける様子で音を表す「直」を合わせた字。鳥をとるあみをまっすぐに張ることから動かないようにする「意味を表す」。

用例

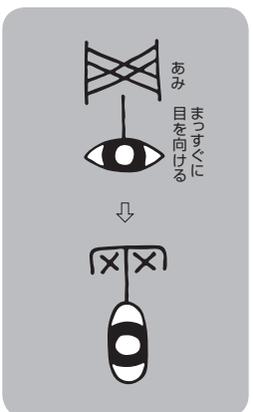
- ① おく。適当な所にすえる。
 - ・ 安置 (大切にすえておくこと。)
 - ・ 位置 (人やものがある場所。)
 - ・ 配置 (人やものを適当な場所や役目に当てること。)
 - ・ 放置 (ある状態のままほうっておくこと。)
 - ・ 物置 (ものを入れておく小屋。)
 - ・ 処置 (手当てをすること。しまつをすること。)
 - ・ 設置 (そなえつけること。機関をつくること。)
 - ・ 置き手紙 (用事を書いて残しておく手紙。)



練習問題

次の——線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひらがなで正しく送りなさい。

- 1 仏像を本堂にアンチする。
- 2 現在いるイチを確かめる。
- 3 ホウチ自転車を片づける。
- 4 ものおきに荷物をしまう。
- 5 おきてがみを残して行く。



第1回

文を読む

1 次の各文の主語と述語を、それぞれ記号で答えなさい。主語や述語にあたるものがないときは、×と答えなさい。

- (1) ア 山田君は イ いつも ウ 本を エ 読んでいる。
- (2) ア あれが イ 東大寺の ウ 大仏殿の エ 屋根です。
- (3) ア おそらく イ 次の ウ 試合では エ A組が オ 勝つでしょう。
- (4) ア きれいな花壇に、イ 咲いている ウ チューリップは。
- (5) ア 山田君も イ 明日から ウ スキーに エ 行くそう。
- (6) ア 夏休みに イ 図書館で ウ 調べた エ ことを オ 先生に カ 報告した。
- (7) ア あれ、イ ぼくの ウ 机の エ 上に オ 置いてあった カ 本は？
- (8) ア 君こそ イ ぼくたちの ウ クラスを エ 代表する オ 人物だ。
- (9) ア だれですか、イ みんなが ウ 使う エ ロッカーに オ かぎを カ かけたのは。
- (10) ア 強い イ 北風どころか ウ 冷たい エ 雨まで オ 降りだした。

2

次の各文の線の言葉が修飾している文節を記号で答えなさい。

- (1) ア 新しい 橋が イ やつと ウ 完成した。
- (2) ア ひとりぼっちの イ 花子は エ 人形と ウ 遊んでいる。
- (3) ア 父は あわてて イ 台所の ウ つけたばかりの エ こんろの オ 火を カ 消した。
- (4) ア めずらしい 外国の イ おみやげが ウ 今朝 エ 祖父から オ 送られてきた。
- (5) ア 来月には、ア 設計した イ ビルが ウ 完成するそう。
- (6) ア あまり ア 赤ちゃんが イ 小さいので ウ びっくりした。
- (7) ア 海の中には イ さまざまな ウ 色の エ 魚が オ いる。
- (8) ア この 山奥にも イ どうとう ウ 待ちに待った エ あたたかい オ 春が カ 来た。
- (9) ア ぼくは 父の イ イタリア製の ウ しゃれた エ かばんを オ ゆずりうけた。
- (10) ア きびしく 父に イ しかられた ウ 弟は エ 泣きだした。